



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■出版・メディア >> 出版

page 1/4

<p>出版人に聞く1 「今泉棚」とリプロの時代</p> <p>今泉正光 著</p>	<p>四六判並製／186頁 定価(本体価格1600円+税) 2010年9月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0878-9</p>	<p>1980年代、池袋で「リプロ」という文化が出現し「新しい知のパラダイム」を求めて多くの読書人が集った。「今泉棚」はその中心にあって、今日では伝説となっている。伝説の「今泉棚」、誕生から消滅までを語る!</p>	冊
<p>出版人に聞く2 盛岡さわや書店奮戦記</p> <p>伊藤清彦 著</p>	<p>四六判並製／184頁 定価(本体価格1600円+税) 2011年2月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0885-7</p>	<p>80年代の後半、新宿・町田の山下書店で、雑誌・文庫の売り上げを急激に伸ばし、90年代に入り、東北の地・盛岡に“この人あり”と謳われた名物店長の軌跡。</p>	冊
<p>出版人に聞く3 再版／グーグル問題と流対協</p> <p>高須次郎 著</p>	<p>四六判並製／216頁 定価(本体価格1600円+税) 2011年3月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0888-8</p>	<p>雑誌『技術と人間』のあと、82年「緑風出版」を設立した著者は、NRに加盟、流対協にも参画し、出版業界の抱える問題とラディカルに対峙する。</p>	冊
<p>出版人に聞く4 リプロが本屋であったころ</p> <p>中村文孝 著</p>	<p>四六判並製／200頁 定価(本体価格1600円+税) 2011年5月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0889-5</p>	<p>再版委託制は歴史的役割を終えている。本を売ることもひとつの想像力である。芳林堂書店、リプロ、ジュンク堂書店を経て、2010年にブックエンドLLPを立ち上げた著者の出版を巡る物語。</p>	冊
<p>出版人に聞く5 本の世界に生きて50年</p> <p>能勢仁 著</p>	<p>四六判並製／216頁 定価(本体価格1600円+税) 2011年7月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1073-7</p>	<p>リアル書店の危機とその克服策。千葉の書店「多田屋」に勤めた著者は、「平安堂」でフランチャイズビジネス、創業期の「アスキー」で出版社、「太洋社」で取次と、出版業界を横断的に体験する。</p>	冊
<p>出版人に聞く6 震災に負けない古書ふみくら</p> <p>佐藤周一 著</p>	<p>四六判並製／200頁 定価(本体価格1600円+税) 2011年9月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1074-4</p>	<p>著者の出版人人生は取次でのバイトから始まり、図書館資料整備センター、アリス館牧新社、平凡社出版販売へと本へのこだわりは続き、郡山商店街に郷土史中心の古書ふみくらが誕生!</p>	冊
<p>出版人に聞く7 営業と経営から見た筑摩書房</p> <p>菊池明郎 著</p>	<p>四六判並製／208頁 定価(本体価格1600円+税) 2011年11月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1077-5</p>	<p>1971年に筑摩書房に入社、80年、更生会社としての再スタート時に営業幹部、99年には社長に就任。在籍40余年の著者が筑摩書房の軌跡を辿り、新しい出版理念として時限再版を提言。</p>	冊
<p>出版人に聞く8 貸本屋、古本屋、高野書店</p> <p>高野肇 著</p>	<p>四六判並製／216頁 定価(本体価格1600円+税) 2012年7月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1161-1</p>	<p>1950年代に日本全国で「貸本」文化が興隆する。60年代には「古本」文化へ移行するが、その渦中を生きた著者による古本文化論。貸本屋が3万店をこす時代もあった! 『神奈川古書組合35年史』編纂で学んだこと。</p>	冊
<p>出版人に聞く9 書評紙と共に歩んだ五〇年</p> <p>井出彰 著</p>	<p>四六判並製／192頁 定価(本体価格1600円+税) 2012年12月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1197-0</p>	<p>1968年に『日本読書新聞』に入社した著者は、三交社などを経て、88年には『図書新聞』編集長となる。多くのエピソードをもって語る、書評紙の編集と経営の苦闘の日々。戦後の書評紙の世界を照射する。過ぎた昔も過ぎゆく今も、書評紙のなかにある。</p>	冊
<p>出版人に聞く10 薔薇十字社とその軌跡</p> <p>内藤三津子 著</p>	<p>四六判並製／184頁 定価(本体価格1600円+税) 2013年3月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1224-3</p>	<p>1962年に新書館で「フォア・レディース」シリーズの企画を担当、天声出版からリトルマガジン『血と薔薇』を創刊。1969年に薔薇十字社、出帆社へとその歩みは続く。三島由紀夫・寺山修司・渋澤龍彦と伴走した日々。伝説の女性編集の軌跡を辿る。</p>	冊



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■出版・メディア >> 出版

page 2/4

<p>出版人に聞く11 名古屋とちくさ正文館</p>	<p>四六判並製／200頁 定価(本体価格1600円+税) 1904年1月刊</p>	<p>学生時代から映画の自主上映にかかわった著者は、1974年、ちくさ正文館にバイトで入社、78年社員。それ以後40年にわたり、文学好きな経営者のもと、“名古屋に古田あり、と謳われた名物店長となる。</p>	
<p>古田一晴 著</p>	<p>ISBN978-4-8460-1272-4</p>		冊
<p>出版人に聞く12 『奇譚クラブ』から『裏窓』へ</p>	<p>四六判並製／216頁 定価(本体価格1600円+税) 1904年1月刊</p>	<p>三島由紀夫や澁澤龍彦が愛読した雑誌の全て。廃刊後の今なお熱狂的なファンをもつ雑誌の全貌が、一投稿作家から『裏窓』編集長になった著者によって初めて語られる。遺著として残されたアブノーマル雑誌出版史！</p>	
<p>飯田豊一 著</p>	<p>ISBN978-4-8460-1288-5</p>		冊
<p>出版人に聞く13 倶楽部雑誌探究</p>	<p>四六判並製／216頁 定価(本体価格1600円+税) 2014年3月刊</p>	<p>昭和の初期および戦後の一時期に大衆文学の隆盛をもたらした倶楽部雑誌は1960年代の中間小説雑誌の勃興とともにその姿を消した。倶楽部雑誌とは何だったのか。初めて語られる倶楽部雑誌の世界。</p>	
<p>塩澤実信 著</p>	<p>ISBN978-4-8460-1318-9</p>		冊
<p>出版人に聞く14 戦後の講談社と東都書房</p>	<p>四六判並製／224頁 定価(本体価格1600円+税) 2014年8月刊</p>	<p>“出版芸術社”運営に携わる著者の1946年講談社入社から始まる出版人生。卒寿を迎えた現役出版人が語る、知られざる戦後出版史の一側面と国内ミステリー誕生の証言</p>	
<p>原田裕 著</p>	<p>ISBN978-4-8460-1338-7</p>		冊
<p>出版人に聞く15 鈴木書店の成長と衰退</p>	<p>四六判並製／200頁 定価(本体価格1600円+税) 2014年9月刊</p>	<p>人文専門取次“鈴木書店”、50年の証言！ 敗戦直後から今日までの流通ルート『出版社一取次一書店』、その実像が初めて語られる。2001年の鈴木書店倒産後、10年にして思う事。</p>	
<p>小泉孝一 著</p>	<p>ISBN978-4-8460-1360-8</p>		冊
<p>出版人に聞く16 三一新書の時代</p>	<p>四六判並製／208頁 定価(本体価格1600円+税) 2014年12月刊</p>	<p>1958年に三一書房に入社し、73年に退社した著者は、60年安保闘争や70年の大学闘争に「三一新書」の編集者として対峙する。左翼と「三一新書」の蜜月時代の軌跡を辿りながら、新書の先駆けとなった「三一新書」の全貌を明らかにする。</p>	
<p>井家上隆幸 著</p>	<p>ISBN978-4-8460-1379-0</p>		冊
<p>出版人に聞く17 『週刊読書人』と戦後知識人</p>	<p>四六判並製／200頁 定価(本体価格1600円+税) 2015年4月刊</p>	<p>1962年に『週刊読書人』編集部に入った著者は、安保闘争後の60年代、三島由紀夫・大宅壮一の死に始まる激動の70年代を編集者として疾走した！ 書評紙と知識人が同伴していた時代を語る。</p>	
<p>植田康夫 著</p>	<p>ISBN978-4-8460-1415-5</p>		冊
<p>出版人に聞く18 小学館の学年誌と児童書</p>	<p>四六判並製／232頁 定価(本体価格1600円+税) 2015年8月刊</p>	<p>1967年に小学館へ入社した著者は、学年誌を皮切りに、童話・子ども百科・文芸書の編集者として手腕を発揮し、やがて児童文学者としても活躍場を広げていった。戦後の子どもの遊びから学年誌、児童文学を語る、『小学一年生』から見た戦後出版史。</p>	
<p>野上暁 著</p>	<p>ISBN978-4-8460-1456-8</p>		冊
<p>出版人に聞く19 弓立社という出版思想</p>	<p>四六判並製／224頁 定価(本体価格1600円+税) 2015年11月刊</p>	<p>徳間書店を退社した著者は1972年に弓立社、吉本隆明の講演集『敗北の構造』を刊行して出版業界へ鮮烈に登場した。投げ込み冊子「風信」と弓立社の理念とは。吉本隆明と伴走した小出版社の軌跡を語る。</p>	
<p>宮下和夫 著</p>	<p>ISBN978-4-8460-1489-6</p>		冊
<p>図書館の時代</p>	<p>四六判上製／384頁 定価(本体価格2400円+税) 1980年12月刊</p>	<p>近代図書館を創った人々は、市民社会を導き出した人々と同じ系譜にある。知識は革命の源泉であり、図書館はその宝庫であった。現代の諸変革も、図書館を中心とすることを、社会史の視座より主張する。</p>	
<p>石見尚 著</p>	<p>ISBN978-4-8460-0163-6</p>		冊



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■出版・メディア >> 出版

page 3/4

出版社大全	四六判上製／866頁 定価(本体価格5000円+税) 2003年12月刊	4400社余を数える日本の出版社の中から、売上額の上位数十社とユニークな出版活動を展開している著名出版社数十社の横顔を、一等資料と当事者の証言によって描き出す。『日販通信』の10年にわたる連載を単行本化。	
塩澤実信 著	ISBN978-4-8460-0543-6		冊
古本探究	四六判上製／264頁 定価(本体価格2500円+税) 2009年2月刊	古本を買うことも読むことも出版史を学ぶスリリングな体験。これまで知られざる数々の物語を“古本”に焦点をあてることで白日のもとに照らし出す異色の近代＝出版史・文化史・文化誌！	
小田光雄 著	ISBN978-4-8460-0700-3		冊
出版業界の危機と社会構造	四六判上製／288頁 定価(本体価格2000円+税) 2007年11月刊	『出版社と書店はいかにして消えていくか』『ブックオフと出版業界』の二冊の後をうけ2001～07年の業界の動きを克明に追いつながらその危機をもたらす歴史的な背景を活写する!図版50余点。	
小田光雄 著	ISBN978-4-8460-0771-3		冊
出版社と書店はいかにして消えていくか	四六判上製／277頁 定価(本体価格2000円+税) 2008年3月刊	再版=委託制に基づく近代出版流通システムは明治期よりどのように形成され、成長したのか?多くの資料を読み解き、その歴史と現在の崩壊過程を克明にたどり、危機の構造を立体化する。	
小田光雄 著	ISBN978-4-8460-0773-7		冊
ブックオフと出版業界	四六判上製／278頁 定価(本体価格2000円+税) 2008年5月刊	海外出店、他資本との提携、そして9月株式公開。総店舗数は500に。書店、出版社、取次、古書店...苦悶する出版業界を尻目に、ブックオフはなぜ膨張し続けるのか?ブックオフ・ビジネスの実像。	
小田光雄 著	ISBN978-4-8460-0774-4		冊
出版状況クロニクル	四六判上製／240頁 定価(本体価格2000円+税) 2009年5月刊	出版業の推移と展望。『出版業界の危機と社会構造』に続いて2007年8月～09年3月までの「出版状況」を、関連する業界の動向を踏まえて、横断的にまとめた後、その危機の実態を分析する!	
小田光雄 著	ISBN978-4-8460-0861-1		冊
出版販売試論 ——新しい流通の可能性を求めて	四六判上製／176頁 定価(本体価格2000円+税) 2010年6月刊	明治以来の出版販売史を「過渡期」から「変革期」へと辿った著者は、「責任販売制」の実際を検証しつつ、今日的課題である「返品問題」解消のため独自の「取扱マージン制」の導入を提案する。	
畠山貞 著	ISBN978-4-8460-0873-4		冊
出版状況クロニクルII ——2009.4～2010.3	四六判上製／336頁 定価(本体価格2000円+税) 2010年7月刊	雑誌文化の危機と出版。電子書籍とリーダーが喧伝される中で、日本の出版業界の現在はどのような状況に置かれているのか。その構図を明確に浮かび上がらせながら、時限再販本市場の創出を提案する。	
小田光雄 著	ISBN978-4-8460-0875-8		冊
書肆紅屋の本 ——2007年8月～2009年12月	四六判並製／338頁 定価(本体価格2000円+税) 2010年7月刊	お気に入りのトークショーに駆けつけて、詳細なレポートに仕上げ、新刊を求めて巷に遊び、一箱古本市、みちくさ市で本を売り、超格安な古本を追い関西へ向かう。本に魅せられた至福の日々!	
空想書店 書肆紅屋 著	ISBN978-4-8460-0876-5		冊
戦後出版史 ——昭和の雑誌・作家・編集者	A5判上製／462頁 定価(本体価格3800円+税) 2010年12月刊	単行本や雑誌は、誰によって、どのように作られ、どう読まれたのか? 数百人の出版人にフィールド・ワークをおこない、貴重なエピソードを積み重ねた本書は、“戦後出版”の長編ドラマである。戦後出版界40年の興亡史。	
塩澤実信 著	ISBN978-4-8460-0881-9		冊



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■出版・メディア >> 出版

page 4/4

古雑誌探究	四六判上製/240頁 定価(本体価格2500円+税) 2009年5月刊	古本屋で見つけた古雑誌—『改造』『太陽』『セルバン』『詩と詩論』『苦楽』などなど—から浮かび上がってくる、数々の思いがけない事実は、やがて一つの物語となって昇化する。	
小田光雄 著	ISBN978-4-8460-0894-9		冊
古本探究II	四六判上製/272頁 定価(本体価格2500円+税) 2009年8月刊	古本をめぐる冒険。これまで知られざる数々の物語を“古本”に焦点をあてることで白日のもとに照らしたす異色の近代=出版史・文学史・文化誌。	
小田光雄 著	ISBN978-4-8460-0900-7		冊
古本探究III	四六判上製/296頁 定価(本体価格2800円+税) 2010年1月刊	独学者・日置昌一の『話の大事典』に端を発し、出版経営、近代文学、翻訳小説、民俗学、英国心霊研究協会、大本教、柳田国男の郷土会から社会学へと連鎖する、戦前の“知”を横断する!連鎖する22の物語。	
小田光雄 著	ISBN978-4-8460-0912-0		冊
グーグル日本上陸撃退記 ——出版社の権利と流対協	四六判並製/264頁 定価(本体価格1800円+税) 2011年12月刊	2009年春に突然出版界を襲った「グーグルブック検索和解案」に唯一オプトアウト=離脱を表明した流対協会長によるグーグル騒動始末記。国立国会図書館問題・著作隣接権にも言及。	
高須次郎 著	ISBN978-4-8460-1076-8		冊
出版状況クロニクルIII ——2010年3月~2011年12月	四六判並製/288頁 定価(本体価格2000円+税) 2012年3月刊	出版物売上高はピーク時の7割、書店数はピーク時の4割に。この数字が示す落差の意味を2年間にわたって探り、大震災前後の出版界を考え、出版業界の失われた十数年の内実を明らかにする。	
小田光雄 著	ISBN978-4-8460-1131-4		冊
貧乏暇あり ——札幌古本屋日記	四六判並製/336頁 定価(本体価格1800円+税) 2012年12月刊	これが末端古本屋の現実!? 業界歴30年、本音を語ります。古本市、稀覯本、詩集、酒、バイト、インコ……ネット古書店主による綱渡りの生態記録。	
須賀章雅 著	ISBN978-4-8460-1205-2		冊
出版とは闘争である	四六判並製/256頁 定価(本体価格2000円+税) 2015年4月刊	出版業界の衰退がいわれる今日、本作りの主体である〈編集者〉の在り方と〈出版人〉の果たすべき役割を(出版文化再生) ブログで問い続ける著者の辛口エッセイ集。	
西谷能英 著	ISBN978-4-8460-1425-4		冊
			冊
			冊
			冊



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■出版・メディア >> メディア

page 1/1

<p>メディアと権力 ——情報学と社会環境の変革を求めて ジェームズ・カラン 著／渡辺武達 訳</p>	<p>A5判上製／453頁 定価(本体価格3800円+税) 2007年4月刊 ISBN978-4-8460-0674-7</p>	<p>権力は情報を操作し民衆を動かしてきたか?インターネットの出現をふまえて「メディア」の全体像を、歴史学・社会学・政治学の観点から解く、メディア研究の白眉。</p>	<p>冊</p>
<p>自由で責任あるメディア 米国プレス自由調査委員会 著／渡辺武達 訳</p>	<p>四六判上製／205頁 定価(本体価格1800円+税) 2008年10月刊 ISBN978-4-8460-0692-1</p>	<p>「言論の自由」と「メディア倫理」-。膨大な調査・討議のもとに、「米国プレス自由調査委員会」によって1947年に刊行された、マスメディアの自由の現状と将来に関する報告書。メディアの社会的責任を論じた古典的道標。</p>	<p>冊</p>
<p>メディア・アカウンタビリティと公表行為の自由 デニス・マクウェール 著／渡辺武達 訳</p>	<p>A5判上製／526頁 定価(本体価格3800円+税) 2009年11月刊 ISBN978-4-8460-0866-6</p>	<p>膨大な文献を比較検討してメディアのもつAccountability(責任履行)を理論的に解明する! メディアの自由と公共性を問う、同志社大学メディアコミュニケーション研究センターのプロジェクト第三弾。</p>	<p>冊</p>
<p>戦後マスコミ裁判と名誉毀損 片野勸 著</p>	<p>A5判並製／320頁 定価(本体価格3000円+税) 2010年2月刊 ISBN978-4-8460-0868-0</p>	<p>週刊誌・雑誌・新聞・テレビ等による名誉毀損とは?報道する側の「表現の自由」と、報道される側の「人権=プライバシー」の衝突であるとの視点からジャーナリズムの在り方を考える。</p>	<p>冊</p>
<p>メディアへの希望 ——積極的公正中心主義からの提言 渡辺武達 著</p>	<p>四六判並製／232頁 定価(本体価格1800円+税) 2012年2月刊 ISBN978-4-8460-1141-3</p>	<p>情報化社会を生きぬく知恵。『サンケイEX』連載の好評コラムの60本はメディアと〈ネット社会・社会貢献・政治・ジャーナリズム〉の諸問題を縦横に語り尽す。「D・ハルバースタムとの対話」を特別収録!</p>	<p>冊</p>
<p>メディアリテラシーとデモクラシー ——積極的公正中心主義からの提言 渡辺武達 著</p>	<p>四六判並製／240頁 定価(本体価格1800円+税) 2014年6月刊 ISBN978-4-8460-1328-8</p>	<p>情報化社会の裏側に迫る。本書には2012~14年に『サンケイEX』に連載したメディア時評のうち40篇を収録。好評コラム集第2弾! 「ピーター・アーネットとの対談」を特別収録!</p>	<p>冊</p>
<p>メディアと著作権 堀之内清彦 著</p>	<p>四六判上製／360頁 定価(本体価格3800円+税) 2015年1月刊 ISBN978-4-8460-1374-5</p>	<p>著作権の実務に携わった著者は、冒頭で「著作権制度の歴史」を示し、「著作権法」を俯瞰した後、「出版・新聞・映画・インターネット・放送」と「著作権」の問題を、多くの文献に基づき解説する。</p>	<p>冊</p>
<p>交通情報の女たち 室井昌也 編</p>	<p>四六判並製／276頁 定価(本体価格1500円+税) 2014年11月刊 ISBN978-4-8460-1385-1</p>	<p>「日本道路交通情報センターの○○さん」「はい、お伝えします。中央環状線では……」日々、耳にする「あのお姉さん」はどんな人? 12人のインタビュー&ON AIRの現場に密着取材。ラジオの定番、「交通情報」の裏側に迫る。</p>	<p>冊</p>
<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p>冊</p>
<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p>冊</p>